

「中学校の夏休みは忙しい！！」

1学期も今日で終わり、明日から夏休みです。今皆さんの心の中はどのような様子でしょうか？学年や立場によって様々なことでしょう。中学校初めての夏休みを前にわくわくしている1年生、いよいよ部活が自分たちの代になることを心待ちにしている2年生、そして、3年生は様々な様子でしょう。残念ながら地区大会で敗れ引退となった人、明日からの始まる県大会を心待ちにしている人、北信越大会や全国大会を目指している人、進路実現のためこの夏が勝負だと思っている人、上中祭に向けて計画を練っている人、本当にいろいろです。

10数年ほど前の話をします。今28歳くらいの女子生徒の話です。その人はソフトボール部のキャプテンで北信越大会を目指していました。また、生徒会長でもありました。そして昔は若狭地区の陸上記録大会があり中心選手でした。また、駅伝の選手でもありました。当然補習もあり、お盆以外は毎日学校に来てたのを覚えています。先生方よりも学校に来ていたのではないのでしょうか。夏の終わりに「あなたが今年の夏休み一番忙しかった上中生やね。」と言ったら「あんまり休むと学校が始まるとえらくなるのでちょうどいいです。」と言っていたのを思い出します。彼女はそんなに忙しいのに宿題は完璧にこなしていました。

しかし、よく考えると彼女は忙しかったから宿題ができたのでしょう。たくさん時間があるとどうしても甘えが生まれます。明日やろう、今度やろう、これが終わったらやろうと先延ばししてしまうのです。忙しい人はできるときにやらないと終わらないという危機感を持っています。

3年生の人は経験上わかっていると思いますが、本当に中学校の夏休みは忙しいものです。計画的に毎日を過ごし充実した夏休みにしてください。そして、事故やけがに十分注意して元気な姿でまた2学期に会いましょう。

「保護者の皆様へ」

我々教員としては、夏休み中もしっかりと課題や宿題に取り組み、期限を守って提出して欲しいのは当然のことなのですが、宿題がこなせず2学期から学校に来づらい状況に陥るのを一番心配します。不登校の出現率の一番多い月は9月なのです。

それでは宿題ができずに悩んでいる子どもがいる家庭ではどうしたらよいのでしょうか？小学校とは違い、親が教えたり手伝ったりするのは困難だと思います。こんな時は担任に相談してください。状況を把握してアドバイスが与えられるのはやはり担任です。担任で無理な場合は学年などの組織で対応します。ただし、8月下旬、もうすぐ夏休みが終わりそうな時期では遅すぎます。お盆明けぐらいが適切な時期でしょう。口うるさく問い詰めるのではなく、相談に乗るというスタイルが望ましいでしょう。

